

第16期開放講座

「水と街道」だより 最終回 第5回

発行：平成27年2月 発行
 発行元：国土交通省中部地方整備局
 多治見砂防国道事務所
 開放講座「水と街道」事務局
 電話：0572-25-8020

【第5回 開催概要】

開講日時：平成27年1月15日(木) 10:00~15:00

参加者：15名

内容(場所)：砂防現場見学(上ヶ洞砂防堰堤工事)、地域づくり活動現場見学(「水と街道」虎溪山の里山づくり)、砂防講座(講義)、閉講式

砂防現場見学 [上ヶ洞(かみがほら)砂防堰堤工事 -多治見市西山町-]

最初に、妻木出張所管内で施工中の上ヶ洞砂防堰堤工事で新しく砂防堰堤を造っている様子を、あいにくの雨模様のなか見学しました。多治見市周辺(庄内川(土岐川)流域)は、全国でも有数の陶磁器産業地域であり、古くから陶磁器生産のための陶土採掘や燃料捻出の山林伐採が行われてきました。このため、少量の降雨によっても容易に泥流化し、土砂災害が頻発してきた時代背景があります。工事監督を担当している妻木出張所職員と施工業者の(株)藤本組の方の案内で、使用されている建設資材(そのまま堰堤の表面になるコンクリート型枠)の説明や、工事中の安全管理の説明を受けました。



完成間近の上ヶ洞砂防堰堤



堰堤表面に使う景観に配慮した型枠とコンクリートの充填を確認する為の穴が開いた型枠



安全掲示板にて、工事中の安全点検について解説

地域づくり現場見学[「水と街道」虎溪山(こけいざん)の里山づくり-多治見市虎溪山町-]

当講座8期受講者が立ち上げた地域づくりボランティア団体「水と街道」虎溪山里山づくりの活動現場を見学しました。

遊歩道の整備・里山の整備、シデコブシ公園づくりや、整備での伐採木をほだ木に活用した椎茸づくりなどの活動について熱心な説明を受けました。おみやげに椎茸を採らせていただきました。



遊歩道と里山整備の説明



きのこの先生のお話



春が最盛期の椎茸



砂防講座(講義)

午後は事務所内会議室にて砂防調査課長による砂防講座が行われ、これまで見学してきた砂防事業の内容について復習をました。

当事務所の砂防事業(木曾川水系・庄内川水系)での過去の災害や事業の実施状況、今年度発生した南木曾町土石流災害と御嶽山噴火災害の対応、防災訓練・防災教育の取り組み、水辺と親しむミズベリングプロジェクトなどを紹介しました。



閉講式



配布した落葉の手作りしおり

修了証書授与



事務所長挨拶

最後に閉講式を行い、事務所スタッフやOB団体のみなさんもいっしょに記念撮影をしました。修了証書授与式では、事務所長より会員の皆さん15名、一人一人に修了証書が手渡されました。本講座で得た知識や経験が、皆さんの今後の地域におけるボランティア活動などに少しでもお役に立てればと思います。



会員(参加者)のみなさんの声

- ・個人では見られない砂防工事現場等見学できて良かったです。各地で発生した災害に対処して工事も多く苦労しているのがよく分かりました。
- ・各地域のボランティア団体の色が出ていて、とても興味深かったです。より良い里山を残していく気持ちが伝わりました。
- ・いつもいつも雨降りでしたが、教えてもらった知識を皆さんに話せたらと思う。
- ・もう少し実地見学があったら良かったと思います。
- ・今回開放講座に参加して、住民との話し合いなどしてもらえる場所という意識をもらいました。

＝第16期開放講座「水と街道」の閉講にあたり参加者のみなさまへ＝

この度は、当事務所が主催する開放講座「水と街道」にご参加いただきまして、誠にありがとうございました。至らない点も多々あったかと思いますが、無事全4回を終了することができたのも、皆様のご協力のおかげと、スタッフ一同大変感謝しております。

今回の講座で、皆様からいただいた貴重なご意見、ご感想を今後の講座に活かし、より質の高い開放講座「水と街道」にできるよう努めるとともに、当事務所の事業執行にも活かしてまいります。末筆ではございますが、皆様が「健康」で「生き生き」と、地域でご活躍されることを祈念しております。

またお会いしましょう!!

(開放講座「水と街道」スタッフ一同)